

平成24年度行政評価委員会 議事要旨

会 議 名	第3回葛飾区行政評価委員会
開 催 日 時	平成25年2月12日(火) 午前10時から正午
開 催 場 所	葛飾区役所新館7階 706会議室
出 席 者	【委員12人】 大石会長、足達委員、網代委員、泉委員、金木委員、篠原委員、 柴田委員、佐々木委員、長谷委員、中山委員、浜本委員、町田委員 【区側4人】 事務局(経営管理課長、経営管理課職員3人)

会議概要

1 開会

2 平成24年度取組内容報告

会長 始めに各分科会長より答申内容の振り返りを行った後、行政評価委員会で評価した12の事務事業における、答申を踏まえた「取組内容」について事務局より報告していただく。

(会長より第一分科会で評価を行った6事務事業の答申内容の振り返り)

(「資料1-1」の「事務事業評価表(重点評価)」における『「今後の方向性」に基づく取組内容』を使用して、事務局より6事務事業の取組内容の報告を行った後、質疑応答)

A委員 「総合防災訓練」の事務事業評価表(重点評価)に記載されている活動指標「参加者数」及び「参加団体数」の24年度目標値が、21年度から23年度の目標値と比べて低く設定されている理由を伺いたい。

事務局 「総合防災訓練」は、23年度まで年度ごとに開催地域を変えて、公園等の会場において自治町会訓練や機関訓練を中心に実施してきた。
24年度は実施方法を大幅に変更し、発災当初における情報の収集・整理・発信を中心に避難所等の開設訓練、関係部署との連携訓練を中心に実施した。

そうした実施方法の変更により自治町会等の参加者が少なくなるため、目標値についても低く設定されている。

(第二分科会長より第二分科会で評価を行った6事務事業の答申内容の振り返り)

(「資料1-2」の「事務事業評価表(重点評価)」における『「今後の方向性」に基づく取組内容』を使用して、事務局より6事務事業の取組内容の報告を行った後、質疑応答)

B委員 「少年の主張大会」には、女の子も参加しているが、「少年」という言葉は適切なのかな。

事務局 「少年の主張大会」は、昭和60年から青少年育成地区委員会との共催で実施されているものであるため、区の判断だけで変更することは難しい。

B委員 「少年」という言葉の変更にこだわっているのではなく、行政には変えていく力がもっと必要だと思う。

C委員 答申を踏まえた改善の取組や25年度予算における増減等を1つにまとめた資料があるとわかりやすいのではないかな。

D委員 今日の資料では、今後の取組の目標値しか記載されていない。

その他の取組については口頭で補足説明していたが、そうした内容も資料として配付するべきでないかな。

事務局 報告方法については、答申内容に対して一問一答形式の文章で報告していた年度もあるが、そうした報告方法では逆に取組内容が明確に伝わりづらいといったご意見をいただいたこともあった。

今年度は、所管部が評価を行い、計画を立てるまでの行政評価におけるPDCAサイクルが見えるように、事務事業評価表に記載された成果指標及び活動指標における今後の目標値を活用した報告方法とさせていただいた。

報告方法については、ご意見を踏まえて、来年度に向けてよりわかりやすい報告方法を検討したい。

B委員 成果指標と活動指標の違いを明確にするべきである。事務事業の性質によっては、成果指標を設定するべきものもあれば、無理に成果指標を設定する必要がないものもある。

適切な指標の設定方法については、事務事業の性質に応じて柔軟に検討する必要があると感じる。

また、所管部評価の妥当性の評価項目のひとつとして「記載のわかりやすさ」があるが、わかりやすく記載することは行政にとって当たり前であり、事務事業の評価項目にはならないと思う。

最後に、葛飾区内の状況や数値のみによって評価を行っているように感じる。例えば、近隣区等の状況や数値等も踏まえるなど、もっと

視野を大きく持って評価を行っていただきたい。

事務局 指標の設定については、適切な指標の設定が困難な場合もあると認識している。しかし、そのような場合でも、代替的な指標の設定などにより成果の把握に努めることで、P D C Aサイクルの一連の流れを事務事業評価表の中に表現し、一般の区民の方にも広く理解していただきたいと考えている。

また、本区の行政評価制度においては、行政評価委員会の評価対象事務事業を含めた約 810 の事務事業について事務事業評価表を区民に公表しているため、それらは区民にとってわかりやすい記載でなければならないと考えている。

そのため、行政評価委員会において「記載のわかりやすさ」という評価項目を設け、事務事業評価表が区民の目線から見てわかりやすい記載であるかどうかをチェックしていただいているのであり、ご指摘のとおり、事務事業自体を評価するために当該評価項目を設けているわけではない。

今後も委員の皆さまからいただく意見には真摯に耳を傾け、改善できることは改善していきたい。

会長 行政評価委員会が設置されて 11 年間、悩みながらも評価を継続していることが大事だと感じる。行政評価委員会の活動を通して、事務事業所管課に気付いてもらえたこともあるし、委員会運営についても進歩していると感じている。

今後も委員の皆さまの意見を踏まえて努力していきたい。

(経営改革全般の取組報告)

会長 続いて 24 年度に区役所で行われた経営改革全般の取組についての報告に移る。

(事務局より経営改革全般の取組について報告)

3 今後の行政評価委員会の方針

(事務局より今後の行政評価委員会の運営について説明)

4 事務連絡

5 閉会